# 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名　株式会社やまびこ　　上場取引所　東
コード番号　6250　URL　http://www.yamabiko-corp.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 永尾　慶昭
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 瀬古　達夫　TEL 0428-32-6111
四半期報告書提出予定日　平成24年2月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 67,717 | 4.1 | 3,083 | 17.4 | 2,995 | 34.0 | 2,048 | 78.0 |
| 23年3月期第3四半期 | 65,075 | 8.0 | 2,625 | 660.2 | 2,235 | ― | 1,150 | ― |

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　1,432百万円　(523.4%)　23年3月期第3四半期　229百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 212.31 | ― |
| 23年3月期第3四半期 | 105.77 | ― |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 76,671 | 25,820 | 33.5 | 2,549.40 |
| 23年3月期 | 73,690 | 24,300 | 32.7 | 2,510.90 |

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　25,701百万円　23年3月期　24,085百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | ― | ― | ― | 35.00 | 35.00 |
| 24年3月期 | ― | ― | ― | | |
| 24年3月期(予想) | | | | 35.00 | 35.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 86,000 | 3.1 | 2,500 | △13.4 | 2,300 | △10.5 | 1,400 | 6.8 | 138.87 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期3Q | 11,027,107 株 | 23年3月期 | 11,027,107 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期3Q | 945,824 株 | 23年3月期 | 1,434,683 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期3Q | 9,646,348 株 | 23年3月期3Q | 10,875,749 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、国内においては、農業機械市場は東日本大震災の影響による需要停滞から、夏以降は米価上昇などが牽引となって徐々に復調しましたが、本格的な回復までには至らず、出荷実績は前年割れとなりました。一般産業用機械市場は、東日本大震災の復旧・復興事業に関連して、とりわけ建設機械需要が高水準で推移しました。

海外は、小型屋外作業機械の最大市場である北米での天候不順の影響や欧州の信用不安の拡がりが実体経済に波及して市況を押し下げたことなどで、総じて軟調に推移しました。

また、為替相場は、対ユーロは連結累計期間の平均では前年同期並の水準となりましたが、対米ドルは記録的に円高が進行しました。

このような経済環境の下、当社グループは、引き続き販促キャンペーンの推進や新規市場開拓などにより売上拡大を図る一方で、東日本大震災によって生じた物流や生産の混乱をいち早く立て直すとともに、発電機などの災害復旧・復興向け製品を被災地に供給すべく早急に大幅な増産体制を敷きました。

また、進行する円高に対応するため、海外生産の拡充や、外貨による資材調達の促進を図るほか、製造コスト低減のための諸施策も講じました。

その結果、当第３四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は、次のとおりとなりました。

［売上高］

当第３四半期連結累計期間の売上高は、円高の影響を主な要因として海外売上が減少しましたが、国内において一般産業用機械が大きく伸びたことで677億17百万円（前年同四半期比4.1％増）となりました。その内訳は、国内売上高が290億40百万円（同15.7％増）、米州の売上高は302億67百万円（同4.9％減）、米州以外の海外売上高は84億９百万円（同3.2％増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

①　小型屋外作業・農業用管理機械

売上高は、480億４百万円（前年同四半期比2.0％減）となりました。

・小型屋外作業機械

国内は、チェンソー、エンジンカッターが好調を維持したものの、春先の低温などの影響で需要が落ち込んだ主力の刈払機が回復しないまま低調に推移したことなどで、前年同期を割り込みました。

海外は、主力の北米市場で南部の干ばつなどの影響を受けて刈払機が低迷しましたが、チェンソー、パワーブロワーは堅調に推移しました。また、米州以外の海外においても、ロシア向けチェンソーが続伸するなど、海外全体では外貨売上は前年同期を上回りましたが、円高の進行によって為替換算後の売上高は前年同期を下回りました。

その結果、売上高は350億45百万円（前年同四半期比4.7％減）となりました。

・農業用管理機械

国内は、東日本大震災後の風評被害などにより果樹関係を中心に防除機などに一時需要停滞があったものの、被災地における除染作業用として高圧洗浄機が増加したことや、安全・省力化機械として普及率の高まった畦草刈機が伸長したことなどで前年同期を上回りました。

米国の農業機械製造および販売子会社は、大豆、ジャガイモなどの農産物の需要増を背景に大型収穫用機械が引き続き好調に推移しました。

その結果、売上高は129億58百万円（前年同四半期比5.9％増）となりました。

②　一般産業用機械

東日本大震災の復旧・復興に資する機械の需要が拡大し、建機レンタルルート向けの資産購入を中心に主力の発電機をはじめ投光機、溶接機などが大幅に伸びたことで前年同期に比べて倍増しました。

その結果、売上高は82億32百万円（前年同四半期比99.5％増）となりました。

③　その他（アクセサリー、アフターサービス用部品、他）

国内は、各拡販策の実施によりオイル、チップソーなどのアクセサリー販売が堅調だったことなどで前年同期を上回りましたが、米州では刈払機用ナイロンコードなどのアクセサリー販売は伸長しましたもののアフターサービス用部品が低調だったことや円高の影響などにより前年同期を下回りました。

その結果、売上高は114億80百万円（前年同四半期比3.9％減）となりました。

［損　益］

営業利益は、円高による利益の目減りはありましたが、売上の増加などにより前年同期に比べて増益となる30億83百万円（前年同四半期比17.4％増）となりました。

経常利益は、29億95百万円（前年同四半期比34.0％増）、四半期純利益は20億48百万円（前年同四半期比78.0％増）となり、いずれも前年同期に比べて増益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　資産

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて29億80百万円増加し766億71百万円となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加22億18百万円、商品及び製品の増加12億20百万円等によるものです。

②　負債

当第３四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて14億60百万円増加し508億50百万円となりました。

その主な要因は、支払手形および買掛金の増加18億１百万円等によるものです。

③　純資産

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて15億20百万円増加し258億20百万円となりました。

その主な要因は、利益剰余金の増加18億47百万円、自己株式の減少５億円等によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.8ポイント増加し、33.5％となりました。

④　キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローが20億18百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが14億53百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが１億32百万円の収入となりました。その結果、当第３四半期連結会計期間末の資金残高は46億72百万円となりました。当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益29億88百万円、仕入債務の増加20億25百万円、売上債権の増加26億３百万円、たな卸資産の増加16億82百万円等により、20億18百万円の収入（前年同四半期は14億62百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得15億78百万円、投資有価証券の取得２億６百万円、有形固定資産の売却３億87百万円等により、14億53百万円の支出（前年同四半期は５億91百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加９億12百万円、自己株式の売却４億45百万円、長期借入金の返済11億72百万円等により、１億32百万円の収入（前年同四半期は13億16百万円の支出）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主力製品である小型屋外作業機械および農業用管理機械の需要は、北半球における冬季に最も低下します。そのため、例年、第４四半期は他の期間に比べて売上高および利益の水準が低くなる傾向にあり、今期もその傾向は変わらないものと見込まれます。

加えて、当社グループの売上の半分以上が米ドルを中心とする外国通貨によるものであるため、為替相場の動向によっては、業績に大きく影響がおよぶ可能性があります。

平成24年３月期の通期連結業績につきましては、上記の状況、第３四半期連結累計期間の実績および今後の見通しを勘案のうえ、前回の平成23年８月11日発表時から修正し、次表のとおり予想しております。

なお、本業績予想の前提となる通期の輸出為替レートは１ドル78円、１ユーロ110円としております。

平成24年３月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 85,000 | 2,300 | 2,100 | 1,400 | 145.95 |
| 今回発表予想（B） | 86,000 | 2,500 | 2,300 | 1,400 | 138.87 |
| 増減額（B―A） | 1,000 | 200 | 200 | 0 | ― |
| 増減率（%） | 1.2 | 8.7 | 9.5 | ― | ― |
| （ご参考）前期実績（平成23年3月期） | 83,381 | 2,887 | 2,570 | 1,311 | 123.01 |

## ２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## ３．四半期連結財務諸表
### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,053 | 4,672 |
| 受取手形及び売掛金 | 14,261 | 16,479 |
| 商品及び製品 | 21,450 | 22,671 |
| 仕掛品 | 935 | 984 |
| 原材料及び貯蔵品 | 5,735 | 5,516 |
| その他 | 1,902 | 1,945 |
| 貸倒引当金 | △259 | △109 |
| 流動資産合計 | 48,079 | 52,161 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 8,009 | 7,405 |
| 土地 | 8,918 | 8,675 |
| その他（純額） | 5,139 | 4,986 |
| 有形固定資産合計 | 22,067 | 21,067 |
| 無形固定資産 | 575 | 515 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 3,997 | 3,952 |
| 貸倒引当金 | △1,027 | △1,026 |
| 投資その他の資産合計 | 2,969 | 2,925 |
| 固定資産合計 | 25,611 | 24,509 |
| 資産合計 | 73,690 | 76,671 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 15,295 | 17,096 |
| 短期借入金 | 18,238 | 18,864 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,222 | 1,966 |
| 未払法人税等 | 284 | 620 |
| 製品保証引当金 | 648 | 643 |
| その他 | 3,321 | 3,457 |
| 流動負債合計 | 40,009 | 42,648 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,406 | 2,802 |
| 退職給付引当金 | 3,688 | 3,464 |
| 環境対策引当金 | 34 | 34 |
| その他 | 2,250 | 1,900 |
| 固定負債合計 | 9,381 | 8,202 |
| 負債合計 | 49,390 | 50,850 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,000 | 6,000 |
| 資本剰余金 | 9,584 | 9,528 |
| 利益剰余金 | 12,296 | 14,144 |
| 自己株式 | △1,467 | △967 |
| 株主資本合計 | 26,413 | 28,705 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 303 | 155 |
| 繰延ヘッジ損益 | △7 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | △2,622 | △3,159 |
| その他の包括利益累計額合計 | △2,327 | △3,004 |
| 少数株主持分 | 214 | 119 |
| 純資産合計 | 24,300 | 25,820 |
| 負債純資産合計 | 73,690 | 76,671 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 65,075 | 67,717 |
| 売上原価 | 47,298 | 49,160 |
| 売上総利益 | 17,776 | 18,556 |
| 販売費及び一般管理費 | 15,151 | 15,473 |
| 営業利益 | 2,625 | 3,083 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 43 | 30 |
| 受取配当金 | 155 | 72 |
| その他 | 203 | 165 |
| 営業外収益合計 | 402 | 268 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 293 | 236 |
| 為替差損 | 478 | 86 |
| その他 | 20 | 32 |
| 営業外費用合計 | 793 | 356 |
| 経常利益 | 2,235 | 2,995 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 19 | 67 |
| 貸倒引当金戻入額 | 17 | － |
| 受取保険金 | － | 45 |
| その他 | － | 5 |
| 特別利益合計 | 36 | 117 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 12 | 24 |
| 減損損失 | － | 90 |
| 投資有価証券評価損 | 18 | － |
| その他 | 80 | 9 |
| 特別損失合計 | 111 | 125 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,160 | 2,988 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,032 | 1,046 |
| 法人税等調整額 | △44 | △163 |
| 法人税等合計 | 987 | 882 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,172 | 2,105 |
| 少数株主利益 | 22 | 57 |
| 四半期純利益 | 1,150 | 2,048 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,172 | 2,105 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △89 | △147 |
| 繰延ヘッジ損益 | 29 | 7 |
| 為替換算調整勘定 | △882 | △532 |
| その他の包括利益合計 | △942 | △672 |
| 四半期包括利益 | 229 | 1,432 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 240 | 1,370 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △11 | 61 |

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,160 | 2,988 |
| 減価償却費 | 2,213 | 2,015 |
| 減損損失 | － | 90 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | △312 | △224 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △57 | △144 |
| 受取利息及び受取配当金 | △199 | △102 |
| 支払利息 | 293 | 236 |
| 受取保険金 | － | △45 |
| 投資有価証券評価損益（△は益） | 18 | － |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △216 | △2,603 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 746 | △1,682 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △1,723 | 2,025 |
| 未収消費税等の増減額（△は増加） | △155 | 140 |
| その他 | △447 | △27 |
| 小計 | 2,319 | 2,666 |
| 利息及び配当金の受取額 | 199 | 102 |
| 利息の支払額 | △253 | △246 |
| 法人税等の支払額 | △803 | △535 |
| 保険金の受取額 | － | 45 |
| 災害損失の支払額 | － | △14 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,462 | 2,018 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の売却による収入 | 225 | － |
| 投資有価証券の取得による支出 | △367 | △206 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 309 | － |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △1,385 | △1,578 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 38 | 387 |
| 信託受益権の売却による収入 | 597 | － |
| その他 | △9 | △56 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △591 | △1,453 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | △492 | 912 |
| 長期借入れによる収入 | 1,097 | 347 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,531 | △1,172 |
| 自己株式の売却による収入 | － | 445 |
| 配当金の支払額 | △326 | △335 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △11 | － |
| その他 | △52 | △64 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,316 | 132 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △111 | △76 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △557 | 619 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,116 | 4,053 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,559 | 4,672 |

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他（注）１ | 調整額（注）２ | 四半期連結損益計算書計上額（注）３ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 小型屋外作業・農業用管理機械 | 一般産業用機械 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 49,001 | 4,127 | 53,129 | 11,946 | － | 65,075 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 31,232 | 2,864 | 34,097 | 3,759 | △37,856 | － |
| 計 | 80,234 | 6,991 | 87,226 | 15,705 | △37,856 | 65,075 |
| セグメント利益又は損失（△） | 1,139 | △288 | 851 | 4,596 | △2,822 | 2,625 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にアクセサリーおよびアフターサービス用部品の販売に係わる事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△2,822百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他（注）１ | 調整額（注）２ | 四半期連結損益計算書計上額（注）３ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 小型屋外作業・農業用管理機械 | 一般産業用機械 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 48,004 | 8,232 | 56,236 | 11,480 | － | 67,717 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 30,427 | 6,293 | 36,720 | 3,688 | △40,409 | － |
| 計 | 78,431 | 14,526 | 92,957 | 15,168 | △40,409 | 67,717 |
| セグメント利益 | 1,367 | 377 | 1,744 | 4,213 | △2,874 | 3,083 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にアクセサリーおよびアフターサービス用部品の販売に係わる事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△2,874百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。